

鶴群

平成 29 年 12 月吉日発行

釧路市タンチョウ鶴愛護会

〒085-0245

釧路市阿寒町上阿寒 23 線 38 番地

釧路湿原美術館内

Tel 0154-66-1117 Fax 0154-66-1121

(題字：加藤 秋霜氏) < 皇太子殿下御歌碑より抜粋 >



ウグイの生餌給餌は中止

釧路市タンチョウ鶴愛護会 会長 吉田 守人



寒さも一段と厳しくなり、美しいタンチョウを身近に観察することが多くなりました。いよいよ阿寒タンチョウの里にも餌を求めて多くのタンチョウが集まってくる季節となりました。本年も 11 月からコーンの給餌が始まっていますが、環境省の政策によって減らされております。

また、昨年同様、ウグイの生餌の給餌は、環境省及び釧路市動物園の意向により給餌出来ません。理由は「リスクがある以上許可出来ない」とのことです。生餌を与えている当給餌場に集まるタンチョウは繁殖率が高いとされているのとコーンだけでは痩せたタンチョウが多くなるのが心配です。鳥インフルによる鳥類が発見されていないのに残念です。

一方阿寒川の浄化の為に始まった植樹は、設立 50 周年の記念事業として土地を購入し記念の植樹をしましたが、多くの木が鹿による食害で枯れてしまいました。苗畑で育てている木も大きくなっておりますので移植をしなければなりません。平成 30 年は、移植に手をつけたいと考えております。

今シーズンもライブカメラで給餌場に集まるタンチョウの姿をホームページでご覧になれるよう配信しております。ツルセンター裏のビオトープを映しているカメラは画像が粗いため見づらくて申し訳ありません。カメラを更新したいのですが資金不足のため思うようにいきません。少しでもお金を貯めて更新したいと考えております。さて、今年度のタンチョウの里千年祭、及び鶴酒をたしなむ会の日程が決まりましたのでお知らせいたします。

●鶴酒をたしなむ会は、平成 30 年 2 月 17 日（土曜日）18 時～赤いベレーで開催

●タンチョウの里千年祭は、平成 30 年 2 月 25 日（日曜日）10 時～道の駅で開催

タンチョウ結婚式で結婚式をあげたいカップル募集中

当日はホームページでライブ中継を予定しております。

鶴だより

釧路市動物園 ふれあい主幹
松本 文雄



タンチョウのこれから

10月29日に鶴居村でタンチョウシンポジウムが開催されました。鶴居村は阿寒町の隣りで、かつては舌辛村として旧阿寒町と同じ村でしたが、80年前に分村して「鶴居村」となりました。今回のシンポジウムは鶴居村開村80周年および村内で日本野鳥の会が運営している「鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ」が開設30周年になるのを記念して開催されたものです。タンチョウサンクチュアリは故・伊藤良孝さんが給餌を始めた場所で、野鳥の会が伊藤さんの協力のもとで施設を作り、伊藤さんが亡くなった後も給餌を引き継ぎ、阿寒と共に3大給餌場のひとつとして数えられている場所です。

以前にも触れましたが、タンチョウが順調に増加していることを受け、環境省は給餌事業の縮小・廃止を検討しています。2年前から、5年間にわたって給餌量を1割ずつ減らす、給餌量削減事業がスタートしています。まずは5割削減し、状況を確認して、国の給餌の終了を考えていくという事になっています。冬期間のタンチョウがいまだに給餌に依存していることを考えると、給餌をなくすことは次期尚早です。新たな越冬地に分布を広げるか、自然の採餌場を探していくかしないと、現状の生息数維持も難しいでしょう。今まで以上に農業被害が増えるかもしれません。



鶴居村では国の給餌削減事業を受けて、今後のツルと地元のあり方を検討し「鶴居モデル」を作ることを掲げています。国は適切な範囲であれば、地元などが独自の給餌を行うことを認めています。鶴居村では村で給餌を続けていくのか、現在、起きている農業被害をどうしていくのか、観光業とのかかわりをどうするのか、多面的に考えてタンチョウと村民のあり方を考えていこうとしています。今回のシンポジウムはこの「鶴居モデル」を作っていくために開かれました。シンポジウムでは鳥（マガンやトキ）と地元の共生を進めている方々をゲストに迎え、他地域の事例を参照に、さまざまな議論が行われました。農家、観光業、行政、保護関係者とさまざまな立場の人が意見を交わしました。農業被害は困るが、ツルがいなくなるのも良くない。鶴居における適切なツルのあり方を、さらに検討していくこととなるでしょう。阿寒においても同じような議論は必要になってくると思います。タンチョウと人の新たな一歩が求められています。

阿寒の子ども達の活動

＜阿寒小学校＞

北海道釧路市立阿寒小学校 三年花組 石田 乃愛

わたしの通っている阿寒小学校では、冬になったら、グラウンドに二才を立てて、つるにエサをあげています。夏から学校の畑でデントコーンを育てて、秋に収穫した物をあげています。冬につるがエサを食べに来てくれるのがうれしいです。

わたしは、つるがつばさを広げてとんでいるのがカッコイイのです。これからも阿寒小学校にたくさん来てほしいです。



＜阿寒中学校＞

ツルの保護通じ交流

出水市の中学生 阿寒中で活動発表

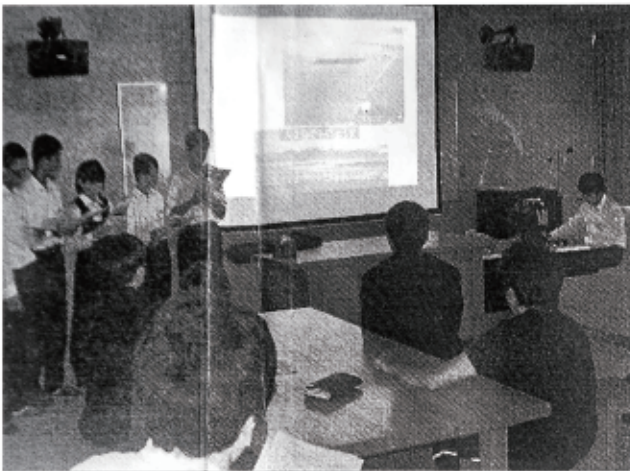
釧路市の友好都市・鹿児島県出水市でツルの保護活動に取り組む中学生が釧路市を訪れ、地元のア寒中学校（小関としみ校長）の鶴特別委員会の生徒と活動発表などを通じて交流を深めた。（富田薫）

両市は、出水に飛来するツル、ナベツルやマナツル、クロツル、釧路に生息するタンチョウと、鶴が取り持つ縁で友好関係にあり、1999年までは両市の中学生が相互訪問を実施していたが、これ以降は出水からの来朝のみとなり、今年が28度目となる。

来朝したのは、出水市立高尾野中学校ツルクラブの1、2年生14人と、同市立荘小学校と荘中学校とが統合して今年度開校した義務教育学校の同市立鶴荘学園の8年生6人。

一行は24日に温根内木道の敷架や「くしろ温泉ノロツコ号」の乗車、和商市場での昼食などを楽しみ、25日に離朝する。

一行は24日に温根内木道の敷架や「くしろ温泉ノロツコ号」の乗車、和商市場での昼食などを楽しみ、25日に離朝する。



「ツルの分散化が課題」などと活動内容を報告した鶴荘学園の生徒

鶴クイズ

平成30年1月1日午後1時に阿寒タンチョウの里で確認される タンチョウの数は何羽でしょうか？

応募方法：ハガキ又はFAXに答えと住所・氏名・年齢・職業・郵便番号・電話番号を明記し、

下記へお送りください。釧路市タンチョウ鶴愛護会のホームページ(URL下記)からも応募できます。

(1人1回のみ)

応募締切：平成29年12月25日(月)当日消印有効

当選発表：平成30年1月5日(金)に当選者には直接通知致します。

また阿寒国際ツルセンターと

タンチョウ観察センター及び愛護会ホームページに掲示します。

賞品：飛翔賞(1名様)釧路市の特産品等1万円相当の品

賛歌賞(2名様)同5千円相当の品

乱舞賞(5名様)同3千円相当の品

楽園賞(15名様)1000円相当の品

クイズのヒント

平成25年(晴)256羽

平成26年(晴)163羽

平成27年(晴)117羽

平成28年(晴)82羽

平成29年(晴)213羽



イラスト募集

作品の大きさ：ハガキサイズ(10cm×14.8cm)

名前等の明記：作品の裏に所属名・学年・名前を明記してください。

展示場所：阿寒国際ツルセンターホール

展示期間：平成29年12月25日(月)～平成30年2月28日(水)

作品の返却：展示終了後、出品者全員に粗品を添えて返却致します。

応募締切：平成29年12月20日(水)当日消印有効

その他：はがきで応募お願い致します。持参も可能です。



釧路市武佐小学校 伊藤心音さん

お知らせ

- ・平成30年1月1日 観察センターにて甘酒を無料で提供致します！
- ・「第4回鶴酒たしなむ会」平成30年2月17日(土)
(赤いベレーにて18:00～)
- ・「第7回 阿寒丹頂の里千年祭」平成30年2月25日(日)
阿寒丹頂の里特設会場にて

応募・お問い合わせ先

〒085-0245 釧路市阿寒町上阿寒 23-38 釧路市タンチョウ鶴愛護会事務局

TEL 0154-66-1117 FAX 0154-66-1121

ホームページ <http://946tanchou-aigokai.com/>

タンチョウ監視人 西川 精作さん

監視人の仕事について、お聞きしました



タンチョウ 監視人とは

タンチョウ保護監視人として釧路市教育委員会からの業務委託を受けています。釧路市阿寒町の舌辛川・阿寒川周辺地域で12月1日から2月末日までの監視期間です。生息地のかく乱等を防止するため、繁殖地、越冬地の監視を実施しています。

業務内容

- (1) 監視人は、タンチョウの生育状況を監視し、その生息、繁殖等をかく乱する行動に注意を促すとともに、成育環境の保全状況に配慮する。
- (2) 監視人は、毎月事に監視の結果をとりまとめ報告する。
- (3) 監視人は、重大な影響を及ぼす行為等を発見した場合は、速やかに教育委員会に報告する。なお、報告を受けた教育委員会は必要に応じ道、環境省自然環境局に通知して、対応を協議するものとする。

西川さん にお聞きしました

監視人の仕事を引き受けたのは平成13年から
今年で16年になります

○一日のながれ

監視は毎朝6時30分から1時間30分程度。夕方は15時から1時間程度監視します。朝は阿寒川3～4か所、舌辛川7か所を双眼鏡でチェックして記録用紙に記入。夕方は朝のルートをぐるっと回ってチェックします。

○監視にあたって

- ① 鶴の数を数えて記入します。
- ② 鶴が電線にぶつかって死んでいないかをチェックします。
- ③ カメラマンへの注意を行っています。(フラッシュが禁止のため)
※冬場になると韓国からのカメラマンの方が多くみられるそうです。
- ④ 死んでいる鶴を見つけた場合、動物園に連絡。(16年間で3回ほどみかけました)



今年阿寒川・舌辛川に建てた看板

○タンチョウ監視人という仕事について

毎日仕事を続けるという事は、つらい面もあるが、鶴のために外に出て監視を続けているお陰で、70歳を過ぎても健康でいられると感謝しています！

～愛護会 2017 広島旅行～

〈10月6日（金）～10月8日（日）〉

「酒まつりに参加して」

丹頂ほろろん会 荒木千枝子

去る十月七、八日に東広島市西条で開催された、「二〇一七 酒まつり」に愛護会会員を中心に総勢十五名で参加してきました。

七日は「酒ひろば」で全国各地の銘酒を試飲してまわりましたが、途中で雨に降られ心ゆくまで堪能できなかったのが残念でした。

午後からは、毎年多大なるご支援をいただいている「賀茂鶴酒造」さんを表敬訪問して、鏡開きの樽のまわりで阿寒町の郷土芸能である「丹頂鶴音頭」を披露させて頂きました。

当初、ほろろん会から七名参加する予定でしたが、七枚の法被を用意したのですが、諸事情で三名参加できなくなり、急ぎよ同行した女性陣の協力を得る事が出来て持参した法被は有効活用できたのですが、踊るのは初めてという方もいましたので会場へ向かう電車を待っている間に駅のホームでテープを流して練習して覚えていただき、何とか皆さんの前で踊ることが出来ました。

司会者の方が私たちを紹介してくれた時、樽の前に集まった大勢の方達から大声援をうけ踊っていて目頭が熱くなって来ました。

大役を済ませた翌日は岩国の錦帯橋や宮島などの観光もして、広島のおいしい食べ物もいただき、和気あいあいとした夕食交流会、二泊三日と短い日程でしたがとても有意義な旅行になりました。企画しお世話下さった皆様、本当にありがとうございました。



賀茂鶴酒造鏡開きで丹頂鶴音頭を披露



賀茂鶴酒造にて



お酒のラベルを作りました



酒ひろばにて



厳島神社にて



錦帯橋にて